

移出鶏卵品質改善共励会を省みて

県畜産課 岡本孝哉

はじめに

第6回をむかえる岡山県移出鶏卵品質荷造改善共励会が、さる8月に阪神市場において107組合が参加して行なわれましたが、その審査に立会った者の一人として、その審査結果からぜひ生産農家をはじめ関係者につぎに述べるような実状を再認識していただき、これをもとにすみやかに改善をはかるべく御尽力願いたいと考え筆をとった次第です。

概況

回を重ねるごとに年々品質改善のあとがみられ、と書きたいのですが、残念ながら昨年に比べ改善のあとがみられず、“岡山の卵は最近品質が良くない”という評判を耳にしていますが、このたびの共励会の結果から、これがはっきり裏付けされた感がありました。

今回の参加組合は107組合で検査は7—8月の2ヵ月間に阪神市場で実施しました。

総体的にみて、集团的に鶏を飼育している地帯のものがよく、反対に小規模の飼育地帯のものが悪い結果が出ています。

107組合の中一級品(80点以上)とみられるもの

わずかに16組合で、60点以下のものが28組合もありました。

最高得点92点、最低39点、平均65点で、特に目立って悪い点は量目不足、選別でありました。

成績の優秀であった組合はつぎのとおりです。

勝加茂農協、幸島農協、宇垣農協、五明養鶏組合、津山東部農協神庭支所、勝北農協、可知農協、新山農協、植月農協、太伯農協

つぎに主な点について細部をみますと、

1、量目不足

不足するものが全体の72% (別表成績表参照) におよんでおり、この中100g以上不足するもの29組合で、最高630gも不足しているものがありました。これは卵の12個分に相当します。また目方のオーバーするもので100g以上のものが8組合で、中には900gオーバーしているものがあったことは、目方に対する関心がないか、計量器そのものに故障があるか分かりませんが量目が不足することが、市場信用を失う最大の原因となるので、組合の出荷担当者は十分注意していただくとともに、計量器の点検にも注意をお願いします。

第6回移出鶏卵品質荷造改善共励会成績(審査項目別) (昭37.7.~8月)
出品組合 107組合

標識	完全なもの	59組合	不完全なもの	48組合	備考
ガムテープ	良好	65	不良	42	
箱	新箱	44	1日箱	63	
保証票	有	73	なし及び	34	
詰方	良	73	不良(並詰)	34	
フライター	新	95	1日および	12	
完全卵	ヒビ卵)の 破ないもの	12	5個まで	58	
			16~14	36	
			15以上	1	
清潔	シミ卵)の 汚ないもの	22	10個まで	49	
			20~29	30	
			30以上	6	
粒の齊一	選別良好	24	やや悪し	22	奇型 10まで 64 11—29 2
			悪し	35	
量目	正常なもの	30	最も悪し て不足し るもの	77	極小 30以上 目方の不足しているもの 100g以上のも29組合 最高630g(卵の12ヶ分) 目方のオーバーしている もの 100g以上8組合 最高900g
卵かく	良	14	石灰沈着	5%まで50	
			粗剛殻	10~14%38	
鮮度	A	47	薄殻	15%以上5	
			B	33	
			C	27	水洗せるもの 11組合

岡山畜産便り 1962.10

2、鮮 度

夏場にもかかわらず大体良好でしたが、中に腐敗卵、鮮度C（気室20mm以上で流動するもの）のものがかなり見受けられました。又中に未だ水洗いしているものが11組合あったが、将に夏場は腐敗しやすいので、今後水洗いは絶対にしないようにしていただきたい。また集卵日についても、5日集卵のものが多いが3日集卵とし、夏は2日集卵として鮮度の確保に注意していただきたいと思います。

3、選 卵

選別は非常に悪く、良いと思われるもの24組合であり、大、中、小の規格どおりに十分選別し、また奇型卵等に混入しないよう、特に極小卵についても端詰となってもよいから、別にするように注意願います。

4、ヒビ卵、破卵

ほとんどの組合に多かれ少なかれ認められましたが、これは輸送中の事故と思われるものもあり、詰込み時の取扱い不注意のため生ずるものと思われるので、箱はなるべく新箱を使用し、またフラット、フィルターも新しいものを使用し、反対に入れないう、卵を並詰にしないよう、1個1個注意して荷造りしていただきたいと思います。

5、シミ卵

全体に多く、商品価値を著しくおとす原因となっています。中には糞がそのまま不着しているものがあり、これらは手入をせずにそのまま詰込んでいるものと思われるので、十分注意願います。

6、詰 方

大体良好ではありましたが、中に逆詰めのもが見られたので、卵の破損に関係しますから出荷、詰込みの際留意願います。

7、外 装

箱についてはいまだ旧箱を使用している組合が半数以上あり、できれば新箱を使用するようにすることで、また標識についても、農協名のないもの、大、中、小の記号のないものが、かなり見受けられますので、小さいことながら十分注意していただきたい。

8、フラット・フィルター

ほとんど新しいものを使用しているが、中には入れ方を反対にしているものがかなりあるので注意す

る必要があります。保証票はほとんど入れてあったが、責任者名のないもの、農協名のないものが見られたので注意を要します。

以上が今回の検査の概要で、今後改善すべき点がありますが、要は生産者、出荷担当者が十分に自覚し、反省して、良心的な卵を出荷して、岡山の卵の信用が落ちかけている現在、十分に自覚して市場信用を高めて、販売を有利にして行こうではありませんか。

岡山県卵の品質低下に警鐘を鳴らしつつ……。

農地信託事業で農協定款変更への動き

農地信託事業を農協が行なうため、単協の定款変更が必要となり、地方によっては10、11月中に臨時総会をひらくところが続出しそうな形勢である。もちろん赤字単協は除外されるが、相当の経営力・事務能力のあるものでないと、うたい文句そのままには農地信託事業は行なえまいとする向きがある。

農地を信託しようとするのは、工業化地帯に多いとみられる反面、経営強化を最も必要とする山間地、辺地では信託を希望するものは少ない。

貸付信託の場合、委託者がもらえる貸付料は、法定小作料（10アール当り年間、田最高1,410円最低570円、畑最高860円、最低315円）に押えられるため、貸付信託は低調になろう。

—協同組合通信より—